宇部工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	総合英語ＩＡ

科目基礎情報

科目番号	11018	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	1st-Q	週時間数	4
教科書/教材	『CREATIVE English Communication Ｉ』、『CREATIVE Ｉ 予習・授業ノート 』、『CREATIVE Ｉ WORKBOOK』、『Listening Laboratory Basic β』+ディクテーションノート、『必携 英単語 LEAP』、『LEAP 活用ノート 1 』、『EARTHRISE 総合英語』、『NEWSBREAKS BASIC 2022』、英和辞書		
担当教員	浅原 京子,石川 源一		

到達目標

中学校での既習事項に加え、英語運用の基礎となる知識や技能を習得し、自ら考え判断しながら、実際の英語によるコミュニケーションの場面で活用できる。
(1) 基礎的な語彙・文法・構文を含む英文を読んだり聞いたりしながら、概要を理解し、必要な情報を得て、その内容に関する質問に答えることができる。
(2) 学習した語彙・文法・構文を適切に運用し、教科書のテーマに沿った話題や身近な事柄について、自分の考えや判断、感想等を表現できる。
(3) アイコンタクトやアクセント、イントネーション、意味のまとまり等を意識して、相手に伝わるように発音・音読・応答できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目1	英文を読んだり聞いたりしながら概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に80%以上答えられる。	英文を読んだり聞いたりしながら概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に70%以上答えられる。	英文を読んだり聞いたりしながら概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に60%以上答えられる。	英文を読んだり聞いたりしながら概要を理解し情報を得て、内容に関する質問に60%以上答えることができない。
評価項目2	既習の語彙や文法・構文を80%以上適切に運用し、自分の考えや感想を例や理由を挙げながら論理的に表現できる。	既習の語彙や文法・構文を70%以上適切に運用し、自分の考えや感想を例や理由を交えて簡単な文章で表現できる。	既習の語彙や文法・構文を60%以上適切に運用し、自分の考えや感想を短い文で表現できる。	既習の語彙や文法・構文を60%以上適切に運用したり、自分の考えや感想を短い文で表現したりできない。
評価項目3	アイコンタクトやイントネーション等を意識しながら、相手に伝わるように滑らかに音読・応答できる。	アイコンタクトやイントネーション等を意識しながらゆっくりでも相手に伝わるように音読・応答できる。	アイコンタクトやイントネーション等を意識しつつたどたどしくても相手に伝わるよう音読・応答できる。	アイコンタクトやイントネーション等を意識しながら相手に伝わるように音読・応答することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育目標 （G）

教育方法等

概要	世界の文化や環境、科学技術等に関する多彩な題材の英文を読んだり聞いたりしながら、内容について考え判断し、表現する力を伸ばすとともに、語彙・文法・構文の基本的な事項を学習します。日常的なコミュニケーションに必要となる基礎的な理解力・表現力を身につけるため、「読む」「聞く」「書く」「話す」のスキルをバランスよく伸ばす練習問題や課題に積極的に取り組みましょう。また、1年生では高校初級～中級以上（CEFRレベルA2以上）の基礎力習得を目指し、課題テストとしてTOEIC Bridgeを８月に受験します。自分の英語の運用力を測り、その後の学習・生活・資格取得に活かしましょう。（TOEIC Bridgeの得点は『総合英語IB』の評価に含めます）
授業の進め方・方法	・基本的には教科書の内容に沿ってレッスンごとに進み、毎回「読む」「聞く」「書く」「話す」のスキルを伸ばす練習問題や課題を含みます。 ・授業中の態度や発表、課題への取り組み状況を評価に含めます。 ・達成度評価は期末試験50%、小テスト15%、課題発表35%とします。ただし、実際の進度等によって変更する場合があります。
注意点	・授業には毎回、予習・復習をして臨むこと。 ・授業には教科書（『CREATIVE I』）、『予習・授業ノート』、英和辞書、その他指示された教材を持参し、活用すること。 ・授業中の活動（リーディング・リスニング・スピーキング・ライティング）には積極的に参加すること。 ・小テストや課題提出等の予定・内容は別途指示する。計画的に取組み、発表・提出期限を守ること。

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	①導入：授業の概要説明（目標・評価基準/方法・教材・学習の進め方等）、リスニング演習① (Listening Laboratory Unit 1) ②Lesson 1 Get Ready、Part 1	①シラバスの内容を理解する。授業の概要と予定、自学自習方法を知る。学習した語句・表現を理解し、聞きとり、音読できる。 ②本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報や考えを伝えることができる。
		2週	③Lesson 1 Part 2 ④Lesson 1 Part 3	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。
		3週	⑤Lesson 1 Part 4、単語小テスト1 ⑥Lesson 2 Get Ready、Part 1	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。
		4週	⑦Lesson 2 Part 2 ⑧Lesson 2 Part 3	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。

		5週	⑨Lesson 2 Part 4、単語小テスト2 ⑩Lesson 3 Get Ready、Part 1、リスニング演習② (Listening Laboratory Unit 2)	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。
		6週	⑪Lesson 3 Part 2 ⑫Lesson 3 Part 3	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。
		7週	⑬Lesson 3 Part 4、単語小テスト3 ⑭Review、リスニング演習③ (Listening Laboratory Unit 3)	本文の内容、語彙・文法・表現を理解し、聞きとり、利用し、音読できる。内容に関する質問に答えることができる。学んだ表現を使って情報を伝えることができる。
		8週	期末試験 ⑮試験返却・解答解説・まとめ	既習事項の定着状況を確認する。 ⑮期末試験の結果を基に既習事項の理解度や得意・不得意を知る。全体を振り返り、取組方法の改善と今後の目標設定に役立てる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	

評価割合

	期末試験	小テスト	課題発表	合計
総合評価割合	50	15	35	100
基礎的能力	50	15	35	100

専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0